

JPNIC 活動報告

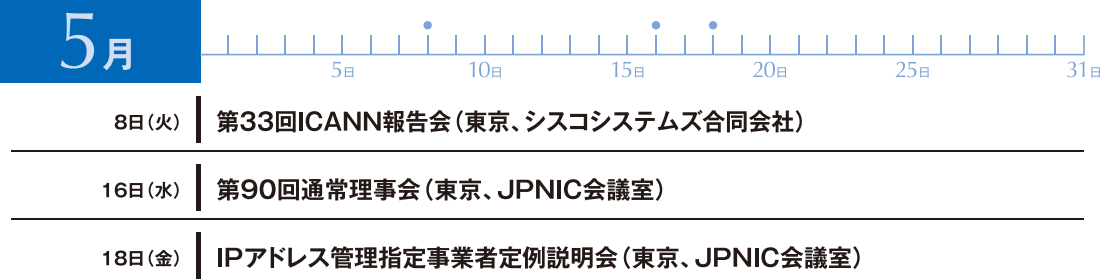
Activity Report

JPNIC活動カレンダー (2012年4月~8月)

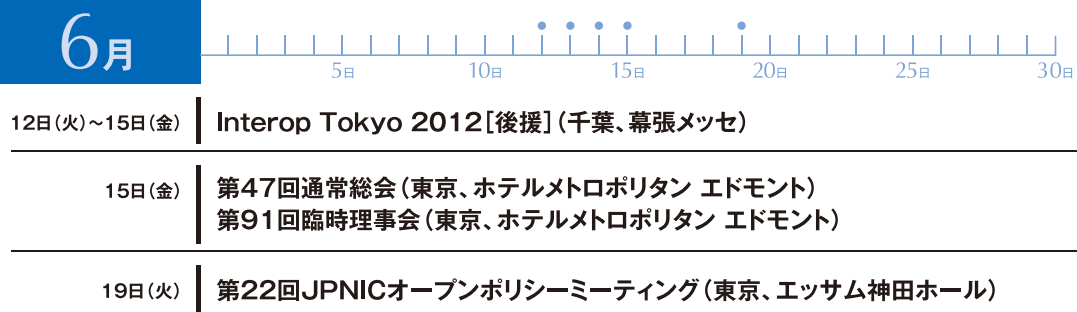
4月



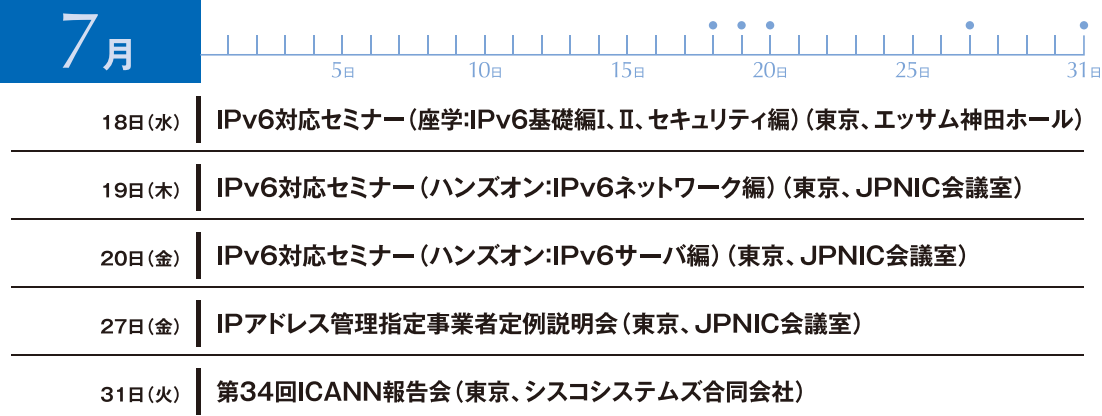
5月



6月



7月



8月



JPNICオープンポリシーミーティングショーケース5開催報告

2012年1月18日(水)に、和歌山市民会館市民ホールにて、JPNICオープンポリシーミーティング(以下「JPOPM」)ショーケース5を開催しました。

JPOPMショーケースは、日本におけるインターネット資源管理ポリシー策定プロセスを多くの人に知ってもらうため、地方開催のJANOGミーティングに併催する形で開催しており、今回で5回目となります。過去のショーケースと同様、JANOGミーティング前日夕刻の開催でしたが、今回は電子情報通信学会IA(インターネットアーキテクチャ)研究会の懇親会と重なってしまい、出席の方がいないのでは、と危惧しました。しかし、最終的には関係者も含め、20名程の方に参加いただき、有用な議論が実施できました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

今回は、次のようなプログラムで開催しました。

1. オープニング
2. 日本のポリシープロセス紹介
3. 最近のアドレスポリシーの動向
4. ディスカッション：RIR間アドレス移転の動向について

上記のうち、2.日本のポリシープロセス紹介では、IPアドレスの管理構造やIPアドレスポリシーの説明の他、「APNICにおける最後のIPv4アドレス/8ブロックの分配」や「4バイトAS番号の割り当てポリシーの変更」といった、具体的なIPアドレスポリシー策定事例を紹介しました。これらの事例を通して、オペレーターの方々にも、IPアドレスポリシー策定をより身近なものに感じていただけたのではないのでしょうか。

また、上記のうち、3.最近のアドレスポリシーの動向セッションでは、オペレーションにも関係するアドレス管理に関するホットトピックスとして、RPKI(Resource Public Key Infrastructure)を紹介していただきました。RPKIについては、ルーティングセキュリティ向上のために、現在、APNIC等の地域レジストリが取り組みを進めています。これに対し会場より、実装や対応機器の紹介がありました。また質疑応答の中では、JPNICでも引き続き情報共有を行っていき考えも示されました。

その後のディスカッションセッションでは、2011年末に開催したJPOPM21*においても提案事項として議論された、RIR間でのIPv4アドレス移転ポリシーについて、JPOPMでの議論の紹介や、最新の議論動向の紹介を実施し、本ポリシーの是非や懸念点について議論しました。意見として、日本国内で独自の移転ポリシーが策定される可能性への懸念や、アドレスポリシーに関する国際的な関係の在り方に関する疑問等が提起され、JPOPMとは違う角度からの議論が実施できました。

当日の資料は、

- JPOPMショーケース5 開催情報
<http://www.venus.gr.jp/opf-jp/events/showcase5/>

に掲載しております。



● ショーケースの司会を務めるポリシー WGの橋俊男氏(写真提供：芦田宏之氏)

◆ ミーティングを振り返って

インターネット資源管理を含むインターネットガバナンスは、国際的な観点からも重要な分野であり、インターネットの健全かつさらなる発展のためにも関与していく必要があると考えています。「インターネットガバナンス」と聞くと、難しく感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、インターネット資源管理ポリシーの検討に加わることも身近な「インターネットガバナンスへの関与」です。皆が日頃感じているポリシーの問題点、ポリシーへの要望を持ち寄って、よりよいポリシーを目指し議論していければと思います。そのため今後、インターネット資源管理の枠組みについて、より多くの方々を知ってもらい、また、興味を持って意見を出してもらえるよう、いろいろな機会をとらえ、ショーケースのようなイベントを開催していきたいと考えています。

最後になりますが、ご発表いただいた皆様、議論にご参加いただいた皆様、また、会場をご提供いただきました株式会社サイバーリンクス様、ありがとうございました。

(ポリシーワーキンググループ/
NTT サービスインテグレーション基盤研究所 藤崎智宏)

※ 第21回JPNICオープンポリシーミーティング報告
<http://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/2011/vol919.html>

JPNIC 活動報告 「IPv4アドレス在庫枯渇とIPv6への対応セミナー」開催報告

2012年2月16日(木)～17日(金)の2日間にわたり、JPNICと岩手大学情報メディアセンターの共催により、「IPv4アドレス在庫枯渇とIPv6への対応セミナー」を岩手大学にて開催しました。本稿では、セミナーの概要を簡単にご報告します。

これまで、このようなセミナーは東京や大阪などで開催されることが多く、東北地方の方々に対してもIPv4アドレス在庫枯渇への対応についての喚起を行い、IPv6への対応の促進を図る目的で、今回のセミナーを企画しました。

セミナーは1日目と2日目で内容を大きく二つに分け、IPv4アドレス在庫枯渇の基礎的な情報/知識を主とするセミナー (Day1) および、実際にネットワークを運用されている技術者に向け、少人数制で実機を利用した演習形式のIPv6のセミナー (Day2) を開催するという構成を取りました。

無料セッションとして開催した、IPv4アドレスをめぐる現在の状況とそれへの対応を説明するセミナーであるDay1には、Webでのライブ視聴者17名を含む50名の一般参加者にご参加いただきました。

また、Day2に設定したIPv6ハンズオンセミナーについては、東北6県に在勤・在住の方は参加費を従来の半額とさ

せていただきました。その影響もあってか、Day2には14名と多くの方にご参加いただくことができました。

今回のイベントを通じて、東日本大震災からの復興に力を注いでおられる岩手のネットワーク環境の向上に、少しでもお役に立つことができればとても嬉しく思います。

なお、JPNICでは、今回の岩手開催以外にも、誰でも利用できるIPv6の検証環境(テストベッド)の提供など、IPv6のさらなる普及推進に向けた活動を行っています。詳しくはP.8からの特集2「永続的なIPv6対応に向けて」をご覧ください。



● 今さら聞けないQ & Aコーナーの様子

IPv4アドレス在庫枯渇とIPv6への対応セミナー

開催日: Day1 2012年2月16日(木) 14:00～17:00 (17:30～懇親会) 主催: 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) 岩手大学情報メディアセンター
Day2 17日(金) 9:30～17:00

会場: Day1 岩手大学 図書館2階 生涯学習・多目的学習室
Day2 岩手大学 情報処理センター2階 教育用端末室

後援: 総務省 東北総合通信局
東北情報通信懇談会
東北学術研究インターネットコミュニティ/TOPIC
ネットワーク連絡会

Day1	IPv4アドレス在庫枯渇の現状と対応		Day2	IPv6ハンズオンセミナー(ネットワーク基礎編)	
1	インターネットの発展とIPv4アドレス在庫枯渇 ～IPv4アドレス在庫枯渇はどのようにしておこったか～	JPNIC IP事業部 佐藤晋	1	IPv6概要(座学)	JPNIC 技術部 小山祐司
2	IPv6への期待:災害時のインターネット	岩手県立大学 村山優子	2	クライアントの挙動について(座学+実習)	
3	実践を通して見たIPv6と取り巻く環境の変化	岩手大学 中西貴裕	3	IPv6導入のための設計・構築・運用時の注意点(座学)	
4	今さら聞けないQ & Aコーナー ～アドレス枯渇対策とIPv6移行のイロハ～ ～企業ネットの対策:どこからどう手を付ける?～	テレコムサービス協会/ 日本電気株式会社 今井恵一 JPNIC インターネット推進部 前村昌紀	4	ルータの設定について(座学+実習)	